（解答例）

設問1．Nakamura氏がアフガニスタンで行った三つのことを日本語で答えなさい

1）井戸づくり　2）水路作り(手伝い)　3）医療活動

設問2．Nakamura氏がアフガニスタンで行った活動は、地元民の健康や生活の改善にどのように貢献したかを述べ、そのうえで医療人としての保健衛生の在り方について、自分の考えを450字以上、500字以内でまとめなさい。

（解答例1　医療人に必要な哲学と態度を中心に）

中村氏はアフガニスタンの戦災難民を対象に医療活動をする際に清潔な水の確保は疾病予防にも繋がるといち早く気づき、飲用水用の井戸と農業用の用水路整備に尽力してきた。井戸による清潔な水の確保は、感染症をはじめとした疾病予防と飲用水の安定的供給という保健衛生の根幹としての意義を再認識させた。用水路整備による灌漑は、高温乾燥の気候であるアフガニスタン国土を住みやすい環境に変え、さらに食糧の生産性を向上させた。このように中村氏が成し遂げてきたことは、アフガニスタンの人々の栄養・健康・生活の質改善に貢献してきた。

また、中村氏は、どんな有望なものからでもひらめき・知識・答えを得て、あきらめず新たな試みに挑みつづけていた。この彼特有の哲学や行動は、アフガニスタンの人々に尊敬や友情の心を芽生えさせた。こうした彼の生き様も、保健衛生に限らず医療人として模範とすべき姿である。

保健衛生にかかわる医療人として、疾病の治療とその支援だけでなく、保健衛生に根ざした生活環境の整備を忘れず、良好な人間関係や社会を構築するという視点で、知識を習得し考え活動しつづける努力を私たちは怠ってはいけない。

（494字）

（解答例2　自然災害医療と関連して）

中村氏はパキスタンで隣国のアフガニスタン戦争避難民を対象に医療活動を行う中で、病気よりも干ばつや汚れた水の方がもっと脅威であることに気づいた。彼は、井戸を掘りきれいな水と灌漑によって農地を確保した。この行動は住と食を改善し疾病予防・生活の質向

上に貢献してきた。彼の活動は、尊敬と友情をもたらしアフガニスタンの人々の心にも影響を与えてきた。

われわれは、彼の偉業にあらためて注目すべきである。疾病の早期診断治療だけでなく、疾病よりも清潔な水の重要性を日常診療の中で見いだし、清潔な生活環境を確保するといった人間生活の基本となる彼の活動に立ち戻る必要性を考えさせられた。ほぼ無尽蔵に清潔な水が提供される日本では、干ばつや汚い水とは無縁の状態で人々が生活している。しかし、アフガニスタンと同様な生活を強いられることが自然災害が頻発する日本でも珍しくなくなってきている。停電などで通信や交通手段が断たれ水や食料が確保できない場合の備えを十分にしておかねばならない。中立的で正しい情報共有・互いに信頼・感謝し合える社会を構築するような普段の活動にも今後注目し、自分の知識や支援スキルの向上に努めなければならない。

(499字)

ポイントと採点基準

・論理性、創造性

・中村氏が貢献したこと①〜③について

・医療人としての在り方④、⑤について下のポイントが記載されていること、
また下記以外の重要項目の記載がある場合は同様に加点する。

★中村氏が貢献したこと

①　医療活動→現地の人と難民を助けた

②-1　砂漠の森化→　干ばつを防ぎ、生活環境を改善

②-2　小麦栽培　→　食生活の改善

③-1　尊敬の念　→　信頼関係の構築

③-2　友情　　→　信頼関係の構築

★医療人としての在り方

④-1、清潔な飲用水の意義　→　疾病の予防

④-2、清潔な生活環境確保

④-3、心理面不安に対する支援

④-4、中立的で正しい情報共有

④-5、信頼・感謝し合えるコミュニティー構築

④-6、上記を実現させるための知識習得

④-7、上記を実現させるためのスキル向上

⑤-1、彼特有の哲学（限界を作らない）　医療人としての模範

⑤-2、彼特有の行動パターン（なんでも取入れる）　医療人としての模範

⑥-1、高い倫理観をもつ

⑥-2、確認行為を行い、事故をおこさないようにする

⑥-3、相手を尊重した態度
⑥-4、世の中の動きに目を向ける

・上記のポイント以外の重要項目が記載されていること。
・誤字脱字
・文字数の逸脱

【模範解答の解説】

中村氏が行った活動は、①医療活動だけでなく、②生活の質の改善、③アフガニスタン人の精神面にも良い影響を与えた。

（清潔な水の確保の重要性）清潔な水の確保は疾病予防にも繋がるといち早く気づき、率先して 1600 の井戸掘削を実行した。井戸で確保した水は用水路整備などの灌漑事業で

（古くさい灌漑事業で住民の生活を変容させた）②-1 砂漠は森に変わり、②-2 大麦栽培で食物確保。

（中村氏とアフガニスタンの人々の友好関係）同時に彼が行ってきた活動は彼に尊敬のみならず友情をももたらし→③-1 アフガニスタンの人々は彼を尊敬し、③-2 彼との友情も手にした。 アフガニスタンの人々の考え方を一変させることに繋がる

（以下は、医療人としての自分の考え）

保健衛生面の重要性：

★生活衛生面　→　彼の偉業にあらためて注目すべきで、われわれは、疾病の早期発見・早期治療とその支援だけでなく、感染症などの疾病予防に必要な清潔な飲用水の重要性④-1 を再認識し、清潔な生活環境確保④-2 といった保健衛生の基本に立ち戻らなければならない。

★精神衛生面　→　新型コロナ感染症の蔓延した日本では、「新型コロナ差別」「新型コロナに対する不安」といった社会や個人の心理面不安に対する支援④-3 も視野に入れた地道な支援も重要と考える。すなわち、「コロナ差別」といったような偏見を防ぐような中立的で正しい情報共有④-4・互いに信頼・感謝し合えるコミュニティーを構築④-5 するような活動にも今後注目し、自分の知識④-6 や支援スキル④-7 の向上に努めつつ活動しなければならないと思う。

医療人として必要な哲学や態度：

彼の努力は、一人の献身的な個人の力と実行できる善行を強力に思い出させる。彼は自ら選んだ職業に彼が中心となって行った新たな取り組みを制限することを拒み⑤-1、自分を駆り立てた。彼は現実の問題を解決しようと決心し、どんな有望なものからでも、ひらめき・知識・答えを得ていた。⑤-2 弛まぬ努力は、彼特有の哲学⑤-1 や行動パターン⑤-2 に支えられていたことがわかる。こうした彼の哲学も、保健衛生に限らず医療人としての模範とす

べき姿⑤-3 である。

【課題文の要約】

The murder of Tetsu Nakamura in Afghanistan this week was a horrific* tragedy for both Afghanistan and Japan. Mr. Nakamura's passionate commitment to helping the people of Afghanistan earned him not only immense respect but friendship, too.

先週の中村哲氏のアフガニスタンでの殺害は、アフガニスタン・日本双方にとっておぞましい悲劇だった。アフガニスタンの人々を助ける中村氏の情熱的な献身は彼に計り知れない尊敬のみならず友情ももたらした。

（中略）

Mr. Nakamura first visited Afghanistan in the 1970s, drawn to the region by a fascination* with insects and a desire to climb its mountains, and he quickly developed a deep affection for the area. After completing his medical training, he returned in the 1980s to Peshawar, Pakistan, to work in medical clinics to help locals and refugees* fleeing war in neighboring Afghanistan.

中村氏がアフガニスタンでの活動をするに至った経緯。山々に興味を持ち、研修を終え、登山からパキスタンの医療活動を開始し、アフガニスタンまで活動の範囲を拡げた。

As his medical practice spread to eastern Afghanistan, Mr. Nakamura discovered that drought* and dirty water were a greater threat than disease. First he dug* wells* －more than 1,600 in total－ but he then introduced and helped spread age-old Japanese irrigation techniques that required little technology. Eventually, his efforts yielded a network of canals that transformed a region that was home to almost million people, turning nearly 24,300 hectares of desert into forests and productive wheat farmlands.

中村氏が成し遂げた支援活動：戦時下のアフガニスタン難民を診察するにあたり、きれいな水の重要性に気づく。日本古来の土木技術を参考に、井戸・水路できれいな水の確保：砂漠を森と食料生産のための大麦畑へと変化させた。

（中略）

While the world mourns* Mr. Nakamura's death, we should focus on his work. His efforts are a powerful reminder of the power of a single, dedicated individual and the good that can be done. He pushed himself, refusing to let his chosen profession limit his initiatives. He was determined to solve real problems and took inspiration, knowledge and answers from any encouraging source. His irrigation solutions were inspired by practices in his hometown hundreds years ago.

私たち日本人は中村氏の活動に注目すべきである。彼の努力は、一人の献身的な個人の力と実行できる善行を強力に思い出させる。彼は自ら選んだ職業に彼が中心となって行った新たな取り組みを制限することを拒み⑤-1、自分を駆り立てた。彼は現実の問題を解決

しようと決心し、どんな有望なものからでも、ひらめき・知識・答えを得ていた。
（中略）

. While Mr. Nakamura was well known in the development community, he remained relatively anonymous* more widely. Now it is up to all of us to ensure that his work and sprit continue.

中村氏は発展途上国の社会ではよく知られた存在であったが、より広範囲においては比較的無名のままだった。今、彼の活動と精神が確実に受け継がれていくのは私たち全員にかかっている

沖